



検索と確認を大幅にラクに！
kintoneで毎日の業務が改善
製造業A社事例

A社は紙ベースの情報管理により、業務効率が低下し、改善が必要でした。



紙ベースの限界

A社は従業員数約50名の製造業の中小企業であり、情報管理がすべて紙ベースで行われていました。紙資料の保管や共有に手間がかかり、業務効率が低下していました。



効率化の必要性

紙ベース管理により情報の検索時間が長く、業務に遅延が発生していました。これにより、受注も発注も、業務進行に影響が及び、社内の効率化が急務でした。

情報の散逸と検索の非効率が業務遅延やコミュニケーション不足の原因となっていました。



情報の散逸

各部署で資料がばらばらに管理されており、必要な情報を探し出すのに多くの時間が掛かっていたのです。



検索の非効率

必要な情報にアクセスできないため、新入社員の教育コストが増大し業務進行の妨げとなりました。



業務の遅延

情報不足が毎日の業務進行を遅らせ、顧客への納期遅延やコミュニケーション不足を招いていました。

kintone導入を通じて、A社は情報一元管理と効率的な検索機能を実現しました。



情報一元管理

kintoneを導入することで、各部署に散在していた情報を一元化し、簡単にアクセスできる環境が整いました。これにより、情報の共有がスムーズに行われるようになりました。



検索機能の強化

kintone検索機能により、情報の検索時間が平均30%短縮され、必要なデータへの即時アクセスが可能になりました。これにより、業務効率が向上しました。

kintone導入で情報検索時間の短縮と納期遅延の減少を達成し、業務効率が向上しました。



情報検索時間の短縮

kintone導入により情報検索時間が平均30%短縮しました。すぐに必要なデータにアクセスできるため、業務スピードが向上しています。



納期遅延の減少

情報共有が円滑になり、業務進行が促進されました。その結果、納期遅延が50%減少し、顧客満足度が向上しています。

A社は更なるデジタル化を進めて新たなビジネスモデル構築を目指し、将来の競争力を高めます。



デジタル化の進展

A社はkintoneを活用し、業務のさらなるデジタル化を進めるAI導入計画をしています。これにより、効率化の深化と情報の活用が可能になります。



ビジネスモデルの構築

デジタル化によるデータ分析と業務プロセスの見直しを通じ、新たなビジネスモデルを構築し、顧客満足度を向上します。

こういった問題が起きていませんか？

デジタル化、難しそう・・・

価格が高いのでは？

どこに頼むか探す時間がない

効果はあるのか？

まずは01スイッチへ
info@01switch.jp

<https://www.01switch.jp/>

